

## 東京芸術祭2021参加作品 NODA·MAP番外公演「THE BEE」

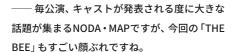
演出:野田秀樹 原作:筒井康隆 ~「毟りあい」(新潮社)より~ 英語脚本:野田秀樹&コリン・ティーバン 日本語脚本:野田秀樹

THE BEE

演出 野田秀樹 インタビュー

## 登場人物も時間もコンパクト でも小品ではない「THE BEE」

2006年以来、上演の度に多くの観客に衝撃を与えてきた「THE BEE」がまた更新される。 野田秀樹も「最強」と言うキャストで目指す普遍とは――。



野田 なかなか最強の布陣ですよ。

キャスティングは、ひとり芯を決めてから バランスを考えられたのか、それともシンプル な直感でしょうか。

野田 シンプルな直感です。ただ、長年の鍛え上げた直感なので(思いつきではない)。井戸という私も演じた役は、一定以上のテンションが出せて、なおかつそれがコントロールできる俳優でないと無理なんですが、その意味で(阿部)サダヲは間違いない。彼は2012年の再演の時、地方まで観に来てくれたんですが、そこで「俺が体力的にやれなくなったらサダヲがやれるね、頼むよ」と言ったんです。

一阿部さんは愛嬌と狂気がシームレスに共存していると思うので「まさに!」と思いました。長澤まさみさんはNODA・MAP初参加です。野田 相当前ですけど、「世界の中心で、愛をさけぶ」を観て、真ん中のふたり(長澤、森山未來)がすごく良いなと思い、その時からずっと気になる存在として頭の中にいたんです。ワークショップに参加してもらったら、やっぱり良いんですよね。普段と全然違うところを恐れずに出してくる。「THE BEE」の小古呂の妻も、被害者として狂気まで行かないといけないんですが、彼女なら大丈夫だと思います。

―― 川平慈英さんは「フェイクスピア」からの 連投です。

野田 子供の役が行けるかなと勝手にイメージ していたんですけど、実は(奔放ではなく)も のすごく真面目。「フェイクスピア」でお互いに コミュニケーションが取れたと思うので、大変 な役だけれど任せようと。

一 河内大和さんは「MIWA」「エッグ」「『Q』:A Night At The Kabuki」などNODA・MAPのアンサンブルで活躍されてきました。

野田 彼は、観に来た人からよく「あの人いいね、誰?」と聞かれて、私も以前からまとまった役をいつか一緒にと思っていたんです。何と言っても身体性が強いから、この芝居はもってこいです。

**野田** いや、最強の布陣ですけどこの作品は安心できません。最初から最後まで全員が一瞬たりとも集中力を切らしちゃいけないから。この4人なのであるところまでは行けると思うけど、その先があるでしょうし。

── 翻って、「THE BEE」は野田さんにとって どんな作品ですか?

野田 いろんな言い方ができますが……。よく プロフィールに勝手に代表作を書かれるんです が、「THE BEE」は代表作と書かれてもいい(笑)。 登場人物も時間も比較的コンパクトですけど、 自分の中では小品ではない。これだけワーク ショップに時間をかけたものはないし、初演が 英語でロンドンというちょっと特殊な経緯で生 まれた作品なので、そこの想いも強いです。

20da Hidek

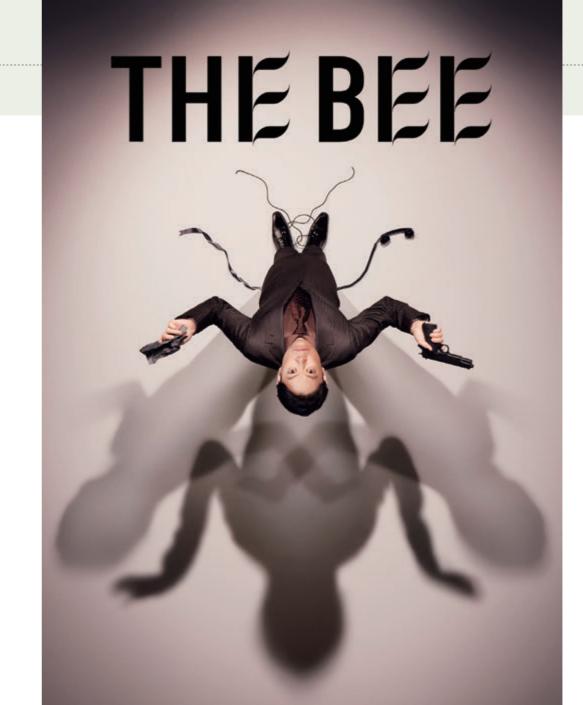
一 今回、NODA・MAP公演では初めて演出に 専念されますが。

野田 この作品は作品だけで強いと言うのかな。例えば「赤鬼」は、歴史的な違いから、アジアではウケるけど西洋の人は理解しにくい。「THE BEE」は、個人と個人の報復から始まる話だから、どこに行っても普遍的な物語として受け取ってもらえます。自分が出ないのも、そのほうが普遍性が強まるからというのがあります。暴力の連鎖という2006年が初演の話が全く古びていないのは、この世の不幸でもありますが。

――演劇を始めとする芸術文化には、つらいことを忘れるためと覚えておくための両方の機能があると思いますが、「THE BEE」はそれが良い形で昇華して普遍性を獲得したのかと今のお話から感じました。

野田「THE BEE」は、ロンドンの多くの観客が「disturb」という言葉を使って感想を伝えてくれたんですが、日本語だと「(胸の奥が) ざわざわする」というのかな。それだと思うんです。いかなる時でもいかなる場所でも人にそう感じさせる。なぜかと言えば、実はみんな持っている闇だから。それが上手く形に出来た作品です。

取材・文:徳永京子(演劇ジャーナリスト)





演出:野田秀樹 原作:筒井康隆 ~「毟りあい」(新潮社)より~ 英語脚本:野田秀樹&コリン·ティーバン 日本語脚本:野田秀樹 出演:阿部サダヲ・・・井戸

長澤まさみ … が 古名の妻 / リポーター 河内大和 … 百百山警部 / シェフ / リポーター

川平慈英 … 安直 / 小古呂/小古呂の息子/リポーター

東京公演10月24日チケット発売 大阪公演あり 公演公式サイト:https://www.nodamap.com/thebee/





阿部サダヲ



長澤まさ



河内大和



II平慈英